

理系 広がる活躍の場

産学懇談会 558社が参加



2023

11.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼

2丁目17番1号

TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<https://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 伊藤学長、生成AI語る／朝日地球会議で荒井PERC所長／古田所長、AI映画を評価／松崎教授が講演／田島准教授らグッドデザイン賞
- 3面 全日本理工科系空手で本学が総合連覇／飯沼さん国際会議特待生に／三浦教授ら優秀発表賞／金原さん学生論文賞／就職・進路支援便り
- 4面 寮祭が復活／よさこい風神、敢闘賞／実験動物慰霊祭



受付を済ませ教員らと名刺交換する企業の人事・採用担当者ら

産学懇談会は、受付・名刺交換ののち、第1部・講演会、第2部・情報交換会と、コロナ禍前のスタイルの2部構成で行われた。本学からは瀬戸熊修理理事長、伊藤穰一学長をはじめ、教職員らが総出で企業の人事・採用担当者らに対応した。受付時刻前から企業の人事・採用担当者が集まり始め、各学科ブース前には長い列ができた。15時から第一部が開催され、伊藤学長は冒頭のあいさつで、本学が今春の入学試験で全国の大学の志願者数に次ぐ2位の志願者数だったことを報告。一方、卒業後の就職は2022年度、卒業生2千人以上の実就職ラッキングで昨年に続き全国3位となり、「高い数字を維持できているのも

千葉工大生へ信頼、期待

本学が企業と親睦を深め、学生の就職について情報交換する「産学懇談会」が11月2日、千葉市のホテルニューオータニ幕張で開かれ、昨年を大幅に上回る558社・567人の人事・採用担当者に参加した。イスラエルとハマス衝突の行方や、今なお続くロシアによるウクライナ侵攻、円安や物価高など外交・経済情勢が不透明感を増す中、ブランド力の向上著しい千葉工大生への信頼と期待が示された意見交換の場となった。

産学懇談会は、受付・名刺交換ののち、第1部・講演会、第2部・情報交換会と、コロナ禍前のスタイルの2部構成で行われた。本学からは瀬戸熊修理理事長、伊藤穰一学長をはじめ、教職員らが総出で企業の人事・採用担当者らに対応した。受付時刻前から企業の人事・採用担当者が集まり始め、各学科ブース前には長い列ができた。15時から第一部が開催され、伊藤学長は冒頭のあいさつで、本学が今春の入学試験で全国の大学の志願者数に次ぐ2位の志願者数だったことを報告。一方、卒業後の就職は2022年度、卒業生2千人以上の実就職ラッキングで昨年に続き全国3位となり、「高い数字を維持できているのも

SUBARU開発で経験談

自動車工業会が「出張授業」

日本自動車工業会主催の「大学キャンパス出張授業2023」が10月12日、本学津田沼キャンパスを主会場に、新習志野キャンパスもオンラインで結んで開かれた。伊藤穰一学長が「SUBARUのモノづくりと、それを支える人」と題して講演した。出張授業は、同工業会がクルマ・バ



は、同工業会がクルマ・バ... 講演会には主会場・オンラインを合わせて計653人が参加した。堀氏は「世界の最新販売台数でトップ3と比べると、SUBARUは10分の1以下

「SUBARUのモノづくりと、それを支える人」と題して講演した。出張授業は、同工業会がクルマ・バ... 講演会には主会場・オンラインを合わせて計653人が参加した。堀氏は「世界の最新販売台数でトップ3と比べると、SUBARUは10分の1以下

イク、モノづくりへの関心を高めることを目的に13年から開催。業界経営者から体験談やメッセージを直接聴く機会を提供している。講演を控えた津田沼キャンパスの食堂前には、クロスレック、インプレス、アウトバック、レヴォーグといった新車4台が展示され、写真、SUBARU社員と学生たちの交流風景も。午後の講演会には主会場・オンラインを合わせて計653人が参加した。堀氏は「世界の最新販売台数でトップ3と比べると、SUBARUは10分の1以下

皆様のおかげです」とお礼を述べ、講演会後の情報交換会でも互いの意見、考えをシェアし千葉工大を未来へ進化させていきたいと述べた。

手嶋龍一氏が講演

第2部では企業と本学学部・学科の就職担当教員との間で名刺交換会が行われた。これに先立ち、瀬戸熊理事長があい



手嶋氏の講演を聴く参加者たち

さつ。産学懇談会に多くの企業の採用担当者らが参加してくれたことに感謝を述べた。また、情報変革科学部、未来変革科学部が4月から誕生することを報告。本学の学生教育について、今後も教職員と力を合わせ、企業に求められるような人材育成に力を尽くしたい、と締めくくった。

熱心に情報交換

続いて株SUBARU常務執行役員人事部長の小林達朗氏が企業を代表して乾杯の音頭を取り情報交換会がスタート。写真下。各学科のテーブルでは名刺交換のため企業の参加者らが長い列を作



「最先端の話...」

た。各企業の事業内容も業種の垣根を超えて変化していることを背景に、熱心な質疑応答が交わされた。

企業側からは手嶋氏の講演に対し「最先端の話...」

実装進む生成AI

「最後の仕上げが難しい」

伊藤学長 ▶ イベントにゲスト出演



伊藤慶二学長は10月26日、AIとビジネスをテーマにしたオンラインイベント「GenAI Expo-Chatting」で生成AIはビジネスをどう変えるか?」に特別ゲストとして招かれ、技術的なクリエイティブティがわからないと新しいビジネスはできない。自分で理解する必要があると勉強してほしいと呼びかけた。

社会とテクノロジーの変革に取り組み伊藤学長は「生成AIが切り拓く日本の未来」のセッションに登場し、AI研究で知られる東大大学院工学系研究科の松尾豊教授や主催する弁護士ドットコム(株)の元柴太一代表取締役社長と対談した。

急速に進化し、社会実装が進む生成AIのアプリケーションやスタートアップに関して、伊藤学長は「巨大なLLM(大規模言語モデル)は作るのも使うのもコストが高いが、分野に特化したモデルが出始めている。日本には独自の文脈があるので、こうしたモデルが出てくるのではないかと期待を示した。同時に「デモでは良いが、最後に役に立つところまで仕上げるのが実は難しい。私が期待しているのは、最後までできていないビジネスというの意外にないのではないか」と指摘した。

た。その上で「日本に人材がいなくてよく言われる。LLMで競争するのは難しいかもしれないが、技術と研究は日本も取り組む必要がある。何をすれば技術者は日本に戻ってきてくれるのか」と疑問を投げかけた。

松尾教授は「日本に技術者が足りないわけではない。彼らは経験を通じてノウハウを蓄積している。海外のビッグテックとの大きな違いはデータのマネジメントのシステム、学習したモデルを管理するシステム、データの取り方など周辺環境だが、日本もそこを整えていけば、ハードルを感じる必要はないのではないか」と答えていた。

テックロジーが創る新

宇宙開発 日本の活躍に期待

朝日地球会議で荒井PERC所長 ▶ 「官民学連携で」

持続可能な地球と社会について議論する国際シンポジウム「朝日地球会議2023」(主催・朝日新聞社)が10月9〜12日、都内・有楽町朝日ホールとオンラインを使い開催され、「月へ火星へその先へ 宇宙開発の未来は」と題したセッションに惑星探査研究センター(PERC)の荒井朋子所長と写真と宇宙飛行士の土井隆雄・京都大特定教授が登壇した。

荒井所長は「人類が月や火星に飛び出してい



く、そしてそこで暮らす。その準備のために私たちが行なっている惑星探査や惑星科学の研究成果や知見が役に立つ時代が来た」と強調し、日本の宇宙探査や宇宙開発の未来について「楽しみにしている」と期待を表明した。

米国が今年、半世紀ぶりに宇宙飛行士による月面着陸を目指す「アルテミス計画」を開始し、インドも8月に無人探査機を月面に着陸させた。世界では米、ロシア、中国、

たな時代に期待が集まる中、伊藤学長は国や企業に望むことについて「国は事前に予想で規制をつくらないでほしい。民間は自分たちでプロダクトを使うだけでなく考える。ひねって競争するというのが重要なので、どんどんやってほしい」と語った。

語り、松尾教授も「経営者がデジタルの苦手な領域に入っていく。DXをやる大きなチャンスなので、今までできてこなかったデジタル化、データベース統合などしっかりやって次の段階に進んでもらいたい」と心じていた。

物や「クリエイター」と呼ばれる存在が人類を滅ぼす兵器を創り出したとの情報をつかむ。AIと人が共生する国家「ニューアジア」にいたのは超進化型AIの少女で、共に「クリエイター」を探す旅に出るというSFアクション。

ヒューマノイドロボットやロボット操縦システムなどを開発してきた古田所長は、「AIが自我を持って人間と共存する世界はあまり考えていなかった」と感想を語り、映画で描かれているAIやロボットの技術を絶賛。ギャレス監督から「自我を持ったAIはいつ現れると思うか」と質問されると、古田氏は

「もうすぐ来る。その時は10月20日から全国の劇場で公開されている。真剣に考えないといけない」と答えていた。

グ・ノーベル賞受賞に至った研究過程を説明し、プロダクトデザイナーとして製品への応用やデザイン事例を紹介。また、研究テーマ「フェーズブリー」を取り上げ、アイデアによって非常時のQOL(生活の質)の維持・向上を目指す重要性を強調。災害への脆弱性を小さくする各地の取り組みを示し「意識しなくてはならない社会をつくろう」と呼びかけた。

参加者たちはアイデアをどう生み出すかを質問。松崎教授は「災害には予測できないところがある。一人で抱え込むよりも周りの協力を得ながら情報を吸収するのが必要」と答えていた。

と評価された。校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

「創造者」映画に太鼓判

古田所長 ▶ 記念トークで

人類とAIの戦争が激化する世界の物語を描いた映画「ザ・クリエイター/創造者」(配給・ウォルト・ディズニージャパン)のギャレス・エドワーズ監督が来日し、10月18日に東京・六本木アカデミーヒルズで記念トークセッションが開か

民と学が知恵を絞って協力して人類が宇宙に飛び出す準備を積極的に前向きに進めていければと思っている」と官民学連携の重要性を指摘した。

また、増え続ける宇宙デブリ(ゴミ)について、DESTINY+探査機は目標天体の小惑星フェーントンに向かう前に、地球の周回軌道を約2年かけて月まで徐々に高度を上げていく。その際、宇宙から飛来する塵(ダスト)と人工の宇宙デブリの分布をその場で測る計画をしていると語った。

★セッションのアーカイブ動画は来年1月まで<https://www.asahi.com/eo/awf/movie/>で配信され、自由に閲覧できる。

日本を代表するデザイン賞である「2023年度グッドデザイン賞」(日本デザイン振興会主催)が10月5日発表され、本学の田島則行・建築学科准教授と写真と岡山理科大の納村信之教授、学校法人栗本学園らが手掛けた国際高等学校の国際寮の建物「同下」が選ばれた。

田島准教授は納村氏ら

と立ち上げた建築家集団「テレデザイン」を通して、建物に高い機能性・耐震性を持たせ、市や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が、海外で活躍するリーダーを、と愛知県日進市

に設立した全寮制インターナショナル・スクール。受賞作の国際寮は、日本人・帰国子女・海外留学生の共同生活のために設計された。既存の校舎が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りのドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生生の記憶に残る風景になる」(審査員講評)

田島准教授らグッドデザイン賞

国際寮の建築 ▶ 美しい円形



と立ち上げた建築家集団「テレデザイン」を通して、建物に高い機能性・耐震性を持たせ、市や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が、海外で活躍するリーダーを、と愛知県日進市に設立した全寮制インターナショナル・スクール。受賞作の国際寮は、日本人・帰国子女・海外留学生の共同生活のために設計された。既存の校舎が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りのドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生生の記憶に残る風景になる」(審査員講評)



空手

全日本理工科系「総合」連覇

女子躍動 ▼ 4部門Vで支える

第36回全日本理工科系学生空手道選手権大会(10月1日、東京・渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催)で、本学体育会空手道部(佐々木聡真主将、プロジェクトマネージャ・P.M.)が4年、部長・相川文弘教育センター教授、部員17人が昨年に続いて総合優勝を果たした。

参加大学は法政大、東京工大、芝浦工大、大阪工大、日本大ほか。本学勢は男女の団体形、女子は団体と個人の組手、個人形と優勝を重ね、女子の活躍が総合優勝に大きく貢献した。この結果、全日本大学空手道選手権(11月19日、日本武道館



昨年に続き総合優勝を飾った体育会空手道部

で開催)の男子団体形・女子団体組手・女子団体形に理工科系代表として出場が決まった。個人部門で男子形の風間翔英選手(P.M.学科2年)は「昨年優勝した野田里穂さん(P.M.学科4年)が切ったので、切り替えて来年へ稽古に励みたい。女子組手の宮藤花選手(先端材料工学科4年)は「先鋒材料工学科4年」は「昨年優勝した野田里穂さん(P.M.学科4年)が負け、(私が)勝たねばと決勝に臨み、優勝できた」。

■ 本学の成績

- 総合優勝 千葉工業大学
- ▽男子団体形 優勝(佐々木聡真、松並快歩、風間翔英)
- ▽女子団体形 優勝(野田里穂、宮藤花、北原愛菜)
- ▽女子団体組手 優勝(野田里穂、宮藤花、北原愛菜)
- ▽男子個人形 準優勝(風間翔英)
- ▽女子個人形 優勝(野田里穂)、準優勝(宮藤花)、3位(北原愛菜)
- ▽女子個人組手 優勝(宮藤花)、3位(北原愛菜)

飯沼さん 国際会議招待生に

S.M.Cで発表 ▼ 脳疾患制御を研究

「生活の質の向上」をテーマとした今年の米国家電気電子学会S.M.C.2023(2023年シフト)で、人間、サイバネティクスに関する国際会議(「Extremely Weak Feedback Method for Controlling Chaotic Resonance」(微弱共振によるカオス共鳴の制御))の論文で応募した飯沼貴大さん(情報科学専攻修士2年、信川創研究室II写真)がStudent Travel Grant(渡航補助特待生・50人)の1人に選ばれ、10月1〜4日、米ハワイ・ホノルルで開かれた国際会議で発表された。

脳・神経の動きを電算機内に再現して追究する信川研が東邦大、中部大、高知大、大阪成蹊大、大和と共同研究した成果で、飯沼さんが代表して発表した。ヒトを含む生物のニューロン集団に、複数のアトランクター(時間発展する軌道を引き付ける相空間領域)が共存するカオス系の存在が指摘され、アトランクター間の往來の

のうれしかった」と話し、チーム代表の佐々木選手は「男子団体組手を落としてしまいました。本に挑みたい」と語った。

データサイエンス教材開発で

三浦教授ら優秀発表賞



情報処理学会の情報教育シンポジウム2023(8月18〜20日、工学院大新宿キャンパスで開催)で、三浦元喜・情報通信システム工学科教授II写真IIが中田豊久・新潟国際情報大経営情報学部准教授と共著で発表した「データをインタラクティブに操作できるデータサイエンス教育用ウェブ補助教材の開発」が優秀発表賞に選ばれた。

今回さらに、RRO法のフィードバック信号の局所的プロフィール(情報)を最適化することで、極めて小さい外部振動で高い同期を実現するよう改良したDGRRO法(Double-Gaussian-filtered reduced region of orbit法)を提案した。

飯沼さんは「的確なアドバイスを議論してくださった信川先生、研究室メンバーらに感謝しています。国際会議の委員たちに私の研究と発表への熱意が伝わり、うれしく思います」と述べた。

高校や大学のデータサイエンス教育用に、オンライン教材や演習環境が開発されてきたが、データを修正し結果を確認するには毎回、分析操作をやり直す必要があった。三浦教授らは、学習者がマウス操作でデータを修正すると結果を即座に反映するウェブ補助教材を、Processing(インタラクティブアートやビジュアル表現のためのプログラミング言語)で開発した。操作結果が即時に

た。悔しさをバネに全日本に挑みたい」と語った。

化や分析手法の概要を短時間で学べ、繰り返し試行もできる。本学の講義で実践し、学生たちの感想を集めたことが教材設計に役立ったという。

三浦教授は「提案した教材はウェブアプリで開発しており、シンポジウム発表時、URLを参加者に提供し、評価されたと思います」と語った。

金原さんらはサンプルソースファイルの一覧表示とソースコードの編集、デバイスへの書き込みに特化したシンプルな統合開発環境をJavaプログラムとして構築してその課題を解決した。

金原さんは受賞に「構築したIoTプログラミング実験に特化した統合開発環境(IoTP)が高く評価されうれいです」と感想を寄せた。

IoT開発実験を支援

金原さん学生論文賞 ▼ 国際会議で

第18回知識・情報・創造性支援システム国際会議(KISS 2023)9月20〜22日、福岡県の北九州国際会議場で開催)で、金原雄大さん(情報通信システム工学専攻修士1年、三浦元喜研究室II写真)が発表した「IoTプログラミング実験に特化した統合開発環境」が優秀発表賞に選ばれた。

未定者を対象に個別支援を強化しています。スピード選考が可能な学内企業説明会なども随時開催しております。

3年生及び修士1年生の就職支援は、各種セミナーなどが既にスタートしています。年内準備に

JOB & CAREER AFFAIRS

就職・進路支援

便り

就職・進路に関する情報をお届けします



記のQRコードからアクセスしていただくこと、保護者用求人検索や進路先一覧等をご覧いただけます。なお、IDとパスワードは、「PPA地区懇談会資料集」をご確認ください。

現在の就活支援状況として、4年生及び修士2年生の就職支援は、主に

企業セミナー、個別指導も

業界・職種・企業理解セミナー	
木曜開催 (11・12月開催分)	
実施内容	・業界・職種の説明 ・卒業生の仕事内容説明 ・今後のイベント案内
日程及び参加企業	【11月30日】 レンゴー㈱、トピー工業㈱ キャノン㈱、タカラスタンダード㈱ 三菱UFJフィナンシャルグループ
	【12月7日】 ㈱デジタルガレージ、㈱GSユアサ 日産自動車㈱、㈱クボタグループ
	【12月14日】 富士電機㈱、㈱富士通ゼネラル TDK㈱、ヨネックス㈱、スズキ㈱ ㈱アルファシステムズ
対象	全学年全学科(専攻)
予約	就職システムの支援行事予約
・各回詳細や実施教室・追加企業等は、就職システム及びメール配信をご確認ください。 ・服装自由	

お勤めの学内行事2つをご紹介します。

①「業界・職種・企業理解セミナー」は、業界を代表する大手有名企業担当者が来校し、直接お話を聞けるチャンスです。紙面の案内をご参照ください。低学年の学生の参加も可能です。

②「大手企業志望者向け個別面接指導」は、現役面接官による選考対策や個別相談などが受けられます。特に大手は動きが早いので、計画的な準備が就活をスムーズに進めるポイントです。

進路に関して少しでも不安や疑問があれば、就職・進路支援部を活用してください。併せてポータルサイトのチェックもお願いします。

寮祭5年ぶりの復活

ステージ囲み ▼ 出店、イベント



新習志野校舎1号館前のステージで繰り広げられたパフォーマンス

コロナ禍などで中断していた学生寮の寮祭(寮祭実行委員会主催・岡垣昇汰委員長・寮長・生命科学科4年)が5年ぶりに10月8日(日)、新習志野キャンパスで開かれた。

4月初旬から寮祭まで半年、実行委員会と各フロア責任者、寮友会執行役員会メンバーの寮生約100人は、来場者に満足してもらえるステージ構成やタイムスケジュールを話し合ってきた。

知恵を絞って

出店の使用機器を電氣量を考慮した配線に、新習志野特有の強風対策や予算……考えるほどに問題山積。それでも理系らしく知恵を絞り、QRコードの読み取りからプログラムをウェブサイトで閲覧することでペーパーレスを実現したりと、工夫を凝らした。特に1号館の湾曲した



実験動物の慰霊祭開く

実験動物の2023年度慰霊祭が9月20日、津田沼校舎2号館2階の会議室で行われた。写真。教育研究に

貢献してくれた実験動物を供養するため毎年開かれている。式典では、佐波孝彦副学長や教職員、学生たちが参列し、順番に献花して動物たちに感謝と哀悼の意を捧げた。本学は科学技術の発展が実験動物の尊い犠牲の上に成り立っていることを再認識し、強い倫理観を持ち教育・研究を進めていきたいとしている。



クイズ大会



ピンコ大会で盛り上がる会場



ステージイベントでにぎわうキャンパス



出店の前で友人たちと



新旧交代・新寮長の梶田さん(左)と、岡垣さん

形状を生かしてステージを設け、これを囲むように出店や飲食スペースを配置。運営側も来場者も、どの位置からでもステージイベントを楽しめるようにした。当日は青空に恵まれ、お祭り日和。

参加者たちはさまざまにイベントを楽しんだ。岡垣実行委員長は「コロナ禍で失った寮の取り組みや、よい習慣、寮生同士のコミュニケーションを、協力し合うことで取り戻せたと思います。」

何より教職員の皆様、寮生、3会の自治会の皆様の協力に感謝します」と話していた。来年度寮長に決まっている梶田俊さん(建築学科3年)は「5年ぶりの寮祭開催でノウハウも分

かりませんでした。先輩の存在が大き、寮祭成功へとつながりました。先輩への恩返しのためにも、来年度の寮祭に経験を生かし、よりよい寮祭開催を目指します」と語った。

よさこい風神 敢闘賞

第24回東京よさこい ▼ 池袋に全国134チーム

体育会よさこいソールン風神部(服部美妃主将)プロジェクトマネジメント学科3年、部長・笠嶋義夫教育センター教授、部員130人(写真)が、「第24回東京よさこい」(10月7、8



日、東京・池袋駅西口周辺で「よさこい祭」の協議会主催、豊島区・東京芸術劇場共催、東京都など後援)で力強い演舞を見せ、敢闘賞(那珂川町長賞)を受賞した。池袋駅周辺を盛り上げる「よさこい祭」は今年で56回目。大賞(東京都

風神チームは、月と太陽をテーマにした「輝(かがりび)」を舞った。太陽の光を反射し光る月を現役生、月を照らす太陽を卒業した先輩たちと仮定し「最初は月だった現役生が、最後は先輩を照らす太陽になれるように」という意味が込められた曲。祭りの最終演舞となり、熱気のなか、チーム全員が若さあふれるキレのよさこい演舞で観客を魅了した。主将の服部さんは「丁寧で迫力ある動きや、タイミングを合わせていかに綺麗に見えるかを心がけています。憧れの場所で踊れてうれしく、日ごろの練習成果を本番で発揮できたと思います。来年はさらに上を目指してほしい」と語った。

PPA



このあいだ典型的な秋晴れの日に洗濯物を干していたんです。割と几帳面な性格で、タオルはタオル、シャツはシャツと整列して干してしまいがち。当然、靴下もペアで整列させるのですが、いくら探しても女性もの靴下が片方しかないんです。洗濯機やペランダま

での動線も探しましたがありません。何かモヤモヤしつつ数日が経ち、また洗濯物を干していたんです。今度は女性もので、色や形の違う靴下が片方ずつしかありません。我が家で女性といえは儉約家の奥様がズボラな娘のどちらかです。えっ！まさか片方だけでも穴があくまで履きつづける儉約精神なのか？でも片方しか洗濯してないときがあるということ、は片方しか履いていない

ということ？ そうなるというのか？ 念のため直接本人らに聞く前にChatGPTさんに助けを求めたところ、「それはちょっと不思議ですね。もう一方の靴下はどこかに隠れているのかもしれないね」と軽くあしらわれてしまったので、意を決して「あっそれ私、寝ぼけて…」ズボラ恐るべし。プロジェクトマネジメント学科 加藤 和彦

四季雑感



店頭りんごが並ぶ季節がやってきた。とりわけ「青森産」を見つけたとじっくり見入ってしまう。父の実家は津軽富士の麓で古くから営むりんご農家である。いまでも叔父と祖母がりんごを育てている。その祖母は90半ば

収穫が終盤を迎える11月初めに農園を訪れた。親族が繰出でもい実を祖母が品質ごとに箱に仕分けする。質を見定める眼力は鋭い。それでいて手先は素早い。この役目は今も祖母の独壇場である。 過日、今年も無事収穫

を終えたこの報を受けた。店頭には並ぶ青森りんご。この中には、祖母の手を経て出荷されたものがふと混じってはいないだろうか。もしくは、どのような人々の手に届いているだろうか。次の秋もその次も。祖母のりんごに想いを馳せる季節がいつまでも繰り返して巡ってほしいことを願ってやまない。 感星探査研究センター 秋田谷 洋

編集だより



いま、若い女性の間でネクタイを着けたファッションが女性誌に取り上げられるなど、注目のアイテムとなっているらしい。 実際に、私の娘も通販でネクタイを購入したり父親に貸してとせがんだり、女子高校生間でも流

行っているとのこと。「若い女性がネクタイを着ける理由」については、「首元に飾りがあったら華やかに見える」「ネクタイを着けるだけでオシャレ」「大人っぽくなる」「かっこいい女性に見える」「など」……。ところが「結ばない」といった悩みもあるようで、「webで検索する」が主流のようだが、「お父さんに結び方を教わった」という意見も……

娘のために、ぬいぐるみを使ってネクタイを結んであげるお父さん。「結ばないから結んで」「おっ、やってやるよ」と、ノリノリのお父さんを想像してしまふ。(笑) 若い女性がネクタイを着ける理由。そのうちの1つが、「家族と(お父さん)仲良くなれるから」というのは、ちょっと図々しいでしょうか？ 入試広報部 大橋 慶子